

めだかの学校だより

発行：おもしろ人立めだかの学校

住所：引佐町奥山1737-286

校長 吉林 宏 石神の里



伝説、信仰も文化

流れる水の清くして

若鮎おどる阿多古川

昔も今も変りなく

若き我らの友として

朝な夕なに仰ぎ見る

観音山のその雄姿

幾く星霜を踏み越えて

我が石神を見守りつ

こんな郷土に生を稟け育てられた一人として日夜感謝の日々で送らせていただいております。

この歌にもある、遠州観音山は引佐町と天竜市の境にあり、磐田見付天神社に銅像も立っている悉平太郎を奉ったホコラがあり、静岡県伝説のひとつとして有名であります。

悉平太郎は山犬系の義犬で信州駒ヶ根市の光前寺より坊さんが借り受け磐田の見付天神で怪物退治をし、故郷の信州へ帰る途中同行の坊さんを大蛇から救い自らは命を落としたのが観音山だと云われています。

遠州阿多古には毎年二月十一日に例大際がある。いぼ観音の伝説もあります。昔、ある夫婦が娘の三人暮らしのきこりがいました。ある日夫婦が山仕事に出かけ娘が留守番をしていますと、一人の旅僧が門口にたつて「のどが乾いてとんと困った、水を一杯くださぬか」娘は「井戸はありませんが沢から汲んで来てあげましょう。」沢に下り水桶に汲んできて「お召し上がり下さいまし」と茶碗に入れて差し出しました。旅僧はその娘の手を見て顔をくもらせましたが「これはありがたい、お冷たい水だ」と喜んで飲みほすと娘に向かって「お娘ご、いぼに困りのようじゃが水をいただいたお礼にいい薬を教えてくださいよう。この沢の上の観音様の横に清水の湧き出る岩穴がある。その水を付ければ、いぼはきつと取れますぞ」と折念したのち山を下って行きました。山から帰ってきた父母と共に、観音様のあたりを探すとその場所がわかりました。これが今も名高い阿多古のいぼ観音の始まりでこの霊水を教え授けた旅僧は無文禪師といひ伝えられています。

座長さんご苦労様でした。

伊藤 茂男さん

エッチのメンバーが勢揃いしました。H班は座長番号が新入生の鈴木真弓さんだったので、突然隣の席の私が座長となり開会した。

各自の自己紹介と近況報告がひとまわりしたところで、本日の宮近講師が同班だったので3時限の延長時業となった。

鈴木真弓さんの「創作マクラメ」に関心が集まり個展の計画まで話がはずんだ。

雰囲気もなごやかで10時少し前自然に班が解けて行つた。

尚、H班の優等生水村春江さんが次期教頭に抜擢されたことは我が班にとつて名譽なことでした。

(あまり、Hな話題は出ませんでしたが事を申し伝えます。)

別所慶則さん

突然の座長ということ戸惑いがありました。

となりの席が近い為、お互いの話がうまく聞き取れないことがあります。

当日は風邪ひいていて大きな声を出なくてご迷惑をかけました。

鈴木芳徳さん

私達の座では、まず自己紹介から入り、続いて自分の仕事や趣味などについて順番に披露しました。町内外の参加者がいきなりひとつにまとまった雑多(?)な座でしたが、役場の課長さんから、お豆腐屋の奥さんそして先生役も務めた毎日の滝川記者などお互いに普段全然知らない人の生活のかけらを見つめることができ、おイモをつつきながらも和みました。ただ途中で、教壇の先生方から特別講義やお知らせが相次ぎ座中の話題の腰が何度か折れてしまったのは心残りです。

倉田 哲次さん

座長という突然のご指名でしたが司会が未熟の由、各人が自分の仕事と自己紹介を兼ね相互に発表したとどまり、その後は隣同志で語り合い席としての盛り上がりには欠けたことは反省しております。

次回は幹事の方々の御発案により

①環境保全のあり方

②それぞれの地域に立脚した住みよい街づくり

③阪神大震災を教訓にした地域住民の相互支援方法について

(以上参考テーマ)

参加者がそれぞれの見解を発表し合ひ討議することが出来たらとご提案申し上げます。

頼みます農山漁村活性化

県「ときめき女性」初認定

【ひとへり分野】

- 田町) 藤本朝子 (豊岡村)
- 仲田昌子 (浜松市) 鈴木みつる (浜北市) 木本恵子 (湖西市) 前嶋恭代 (引佐町)
- 清水美枝子 (三ヶ日町)

これからも、地域のいい物やいい人達とご紹介できればいいなと思つていきます。

渥美登良男先生が退院

しばらく入院生活を送っていた先生が退院されました。次回、めだかの学校をとて楽しみにされています。

兵庫県南部地震の被災者の皆様へ 心からお見舞い申し上げます。

めだかの音楽仲間が自分達で出来るボランティアとして、コンサートをやることになりました。ぜひ来て下さい。

阪神大震災めだかのチャリティーコンサート

■日時：2/18(土) PM6:00開場
PM6:30開演

■会場：竜ヶ岩洞やまびこホール 戸田昭朗氏提供
当日募金活動等、スタッフが必要ですのでぜひ御協力してください。

■総合司会 榊原幸雄・水村春江

■出演者 ・ギター 坂柳博明 ・ドラム ギター 小栗 茂 ・草笛 加茂光廣
・ピアノ 大石礼子 ・カト 牧 和代 ・ギター 成田雅志
・ボーカル 加竹内幸子 ・現代吟 西村季久篤
・レポート 別所慶則 ・撮影 西原 弘

当日、浜松レスキュー隊の現地のお話も聞けます。
集まった募金は、当日引佐日赤にお渡ししたいと思います。
又撮影したビデオは、次回のめだかの学校の放課後にご披露
致します。

大震災へ医療ボランティア

別所慶則さんが、単身医療ボランティアで被災地へ！
地震があつてから毎日テレビ等で避難生活の様子が報道され居ても立っ
てもいられなくなり27日から31日まで自分が少しでも役に立てれば
と行って来たそうです。
避難生活はテレビで見るよりも大変で、被災者の体調も地震直後の緊張
感からやっと落ち着きはじめて、体調の不調を訴える人が沢山いたよう
です。

この貴重な体験のお話は、2/18日の阪神大震災めだかのチャリ
ティーコンサートの時に、特別授業としてお話していただきます。

めだか野戦病院

歴代職員一覧表

第六回 校長 浅野信子 教頭 加茂光廣 用務員 榊原淑友	第五回 校長 松田不秋 教頭 植田睦子 用務員 杉山祝勇	第四回 校長 牧野久子 教頭 鈴木次郎 用務員 勾坂玲子	第三回 校長 渥美登良男 教頭 小野田全宏 用務員 上嶋裕志	第二回 校長 見野孝子 教頭 山内秀彦 用務員 鴨藤和彦	第一回 校長 平山 豊 教頭 伊藤茂男 用務員 武井紀夫
先生 滝川 徹 今村純子 宮近 勝	先生 松田不秋 関 京子 加藤修一	先生 野沢 進 森口とり子 鈴木祥二	先生 前島恭代 白井勝文 篠原準八	先生 山中恵美子 近藤至弘 渋谷直樹 和嘉子	先生 榊原幸雄 石川美知子 植田睦子

第7回めだかの学校
3月3日

会場：いなさ自然休養村「つみくさ」
校長 吉林 宏 石神の里
教頭 水村春江 ワールドプロデュース
用務員 石野省三 西気賀小学校

第7回めだかの学校時間割

PM6:20	予 鈴 進行 教頭 校歌斉唱 めだかの学校 のうた
6:30	新入生自己紹介
6:45	1時間目 古代史 時代の中のスサノウみつけだし ※ 夏目利道・洋子
7:05	2時間目 生活科 人は皆、違うからおもしろい ※ 名和 紅・くろ
7:25	3時間目 雑学 喜びについて ※ 溝口忠博・照代
7:45	質問・事務局からのお知らせ
7:50	校長先生訓話
8:10	給食の時間 進行 用務員 給食係り紹介 座長を中心にお話の輪！
9:30	自由交歓
10:00	全員でかたづけ
10:15	茶会・酒会・クラブ活動（牧野さんの藤工芸） 自由解散
10:45	入浴（女子PM11:30まで） （男子PM11:30からPM12:30まで）

